



第1便の「森吉丸」が観光客を乗せて出航

新緑の映える湖面へ

太平湖湖水開き2006

奥森吉観光シーブズの幕開けを告げる湖水開きが6月3日に行われ、新緑まぶしい湖面に第1便となる「森吉丸」が観光客を乗せて出航しました。

快晴となったこの日、太平湖グリーンハウス内で神事が執り行われ、北秋田市森吉観光公社の関係者や、山の案内人、一般観光客など約20人が参加し、今シーズンの無事故を祈りました。

小又峽橋から三階滝までの遊歩道は、途中の龍神の滝から先が残雪のため、当面通行止めとなっていますが、観光客は新緑が盛りを迎えた奥森吉の自然を楽しんでいました。

6月10日からは「花の百名山・森吉山紀行」も実施され、本格的な夏山シーズンが始まります。

イベントでにぎわう商店街

第22回ふるさと踊りと餅つき祭り

第22回ふるさと踊りと餅つき祭りが6月4日、鷹ノ巣駅前・銀座通りを会場に開催され、昨年同様に秋田内陸線の無料列車を利用した市民をはじめ、市内各地からの見物客でにぎわいを見せました。

餅の販売は、午前10時の開店と同時にどの店も大勢のお客さんたちに囲まれ、大福餅、お焼き、草餅などの彩り豊かな各種の餅は飛ぶような売れ行きでした。

太鼓の演奏や民謡・歌謡ショーが祭りの雰囲気盛り上げる中、つきたての餅の引き伸ばし競争や、流しソーメンなどのミニイベントも人気を呼んでいたほか、ふるさと踊りでは、綴子太鼓と餅を振舞う大八車を先導役に、鷹巣各地域から参集した婦人団体による踊りの大行列が、終演まで途切れることなく、歩行者天国の通りは訪れた人々の熱気と歓声でいっぱいでした。



大人気だった餅の販売



女性パワーがみなぎったふるさと踊り



慎重に餅を引き伸ばす参加者



指導を受けながら田植えを行う修学旅行生

グリーンツーリズム都市と農村交流

東京都の中学生が農業体験

平成14年から地域活性化に結びつけようと修学旅行の生徒たちを受け入れてきた阿仁湯口内の農家6軒に、5月21日、グリーンツーリズムの一環として、東京都足立区新井中学校3年生男女26名が訪れ農業等の体験をしました。

入村式終了後、生徒たちはさっそく農家の指導を受けながら素足で田んぼに入り、昔ながらの手作業で、あきたこまちの苗を植えました。

田植え後、各農家に分かれてキノコの駒打ちや育苗箱洗いなどで汗を流し、夕食には、キリタンポや山菜、ヨモギ餅等を中心に心のこもった手作りの料理を堪能しながら交流を深めました。

サツマイモさんはやく大きくなってね

鷹巣農林高校 農場開放交流会

県立鷹巣農林高校で5月25日、市内の園児や児童ら232人を招き、同校の実習農場でサツマイモの苗植え体験が行われました。

このサツマイモの苗植え体験は、同校が毎年農場を開放し、地域とのふれあいを大切にし交流を深めているもので、同校農業科学科野菜専攻の先生と生徒8人が、子どもたちにやさしく植え方を教えていました。

今回、植えられたのは「べにあずま」という品種のサツマイモ。苗は630本用意され、子どもたちの手によって約7アールの実習農場に植えられました。

植えられた苗はこの後、同校の生徒たちによって大切に育てられ、9月頃には、おいしいサツマイモが収穫できる予定です。



生徒のやさしい指導で苗を植える園児

高山植物が咲き始める

森吉山阿仁側コース山開き登山

阿仁山岳会と森吉山を美しくする会主催の「森吉山阿仁側コースの山開き登山」が6月4日に行われ、市内外から登山愛好者ら約40名が参加し今年1年の無事故を祈願しました。阿仁避難小屋で神事を行い夏山の幕開けを祝うとともに、シーズン中の登山者の安全を祈願した後、参加者は山頂を目指しました。

新緑真っ盛りのブナ林の山道や山頂付近にはシラネアオイやツバメオモト、ザゼン草、チングルマ、イワカガミなどの高山植物が咲き始めています。

天候に恵まれたこの日は、山頂からは岩木山、岩手山、秋田駒、日本海等360度のパノラマを楽しむことが出来ました。



残雪のコースを楽しみながら山頂を目指す愛好者